

【青森県教育委員会】

校務DX計画

県立学校で現在運用している統合型校務支援システムは、令和7年度中に更改を予定している。この更改を軸に県立学校の教育ネットワークについて、次世代の校務デジタル化を支える環境として再構築することを検討する。

これまで、校務処理の業務に関して複数ベンダーの共存が発生し、それぞれのサービスが独立して構築・運用されたため、ユーザ管理やデータ連携、情報資産の管理等で複雑化を呈している。学校現場を支えるヘルプデスク機能も多岐に渡り、教職員の利便性向上に結び付いているとは言い難い状況である。

そこで、文部科学省が実施した「次世代の校務デジタル化推進実証事業」の成果を基に、県立学校の校務デジタル化の実現に向けた課題を整理し、次期青森県教育ネットワークとして設計・構築を進めることとする。

校務デジタル化のおおよその推進過程は以下のとおりとする。Ⅰ期では学校DXスタートアップ事業を軸に取組を進め、Ⅱ期では校務支援システム更改に係る周辺システムやネットワーク環境の整備を進める。Ⅲ期ではオンプレミスで運用している現行サービスをクラウドに移行し、校務系と学習系で分離していた教育ネットワークの統合を図る。

Ⅰ期（学校DXスタートアップ）
①Microsoft365 A3 → オフィス環境、ファイル管理等のクラウド化 ②デジタル採点システム → 業務の効率化、連絡ツールとの連携 ③生徒・保護者連絡ツール → ペーパーレス、教育委員会からの直接連絡
Ⅱ期（校務支援システム更改）
④校務支援システム（クラウド型） → データ連携、教育ダッシュボード
Ⅲ期（ASNネットワーク更改）
⑤メールサービス → オフィスツールへの統合 ⑥学校Webサービス → パブリッククラウドへの移行
その他
⑦校務端末の1台化 → ゼロトラストによるセキュリティ対策 ⑧端末セキュリティ → 多要素認証、端末管理、ファイル暗号化 ⑨ネットワーク統合 → ローカルブレイクアウト等

校務支援システム更改にあっては、デジタル採点システム等との連携を想定しながら検討する必要がある。

この他、行政系システムである文書管理システムの令和7年度更改に伴って、学校の文書管理においても電子決裁を推進し、校務の効率化・ペーパーレス化を図っていく予定である。

	R 6	R 7	R 8	R 9
I 期	①Microsoft365 A3 ②デジタル採点 システム ③生徒・保護者連絡 ツール ※デジタル教材			
II 期	予算要求	④校務支援システム (クラウド型) 設計・構築・移行 ※ネットワークアセスメント	本稼働	
III 期			予算要求 ⑤メールサービス	設計・構築 ⑥学校 Web サービス
その他		⑦校務端末の 1 台化 ⑧端末セキュリティ (ゼロトラスト) ※ネットワーク設計 ※1 人 1 台端末更新		⑨ネットワーク統合